

南信州広域連合議会
全 員 協 議 会

平成24年10月23日

南信州広域連合事務局

全 員 協 議 会

平成24年10月23日

南信州広域連合議会事務局

南信州広域連合議会 全員協議会会議録

平成24年10月23日(火) 午後3時30分 開議

1. 開 会

2. 議長あいさつ

3. 理事者あいさつ

4. 協議・報告事項

(1) 次期ごみ処理施設の整備について

(2) 南信運転免許センターの設置について

(3) 高等教育機関の設置に向けた取り組みについて

(4) リニア将来ビジョンの具体化への取り組みについて

(5) 平成24年度の議会日程について

平成24年南信州広域連合議会第2回定例会 平成24年11月29日(木)

平成25年南信州広域連合議会第1回定例会 平成25年 2月21日(木)

5. 閉 会

南信州広域連合議会 全員協議会

日 時	平成24年10月23日(火) 午後3時30分～午後5時00分
場 所	飯田広域消防本部 3階会議室
出席者	熊谷(英)議員、下平(豊)議員、松村議員、横前議員、原(嘉)議員、木下(藤)議員、堤本議員、後藤(文)議員、宮嶋議員、坂巻議員、小池議員、上原議員、勝又議員、仲藤議員、福田議員、宮外議員、中平議員、松下議員、米山議員、木下(克)議員、後藤(荘)議員、上澤議員、林議員、井坪議員、原(和)議員、14市町村長(欠席・阿智村長、天龍村長代理)、渡邊副管理者、秦野飯田市企画調整係長、山田消防長、桂消防次長、米山飯田環境センター事務長、北原飯田環境センター専門主査、園原飯田環境センター庶務係長
事務局	高田事務局長、吉川事務局次長、小林次長補佐兼介護保険係長、北原次長補佐兼庶務係長、近藤広域振興係長、林庶務係主査

1. 開 会
2. 議長挨拶
3. 理事者挨拶
4. 協議・報告事項

No	項 目 名	資料	頁
1	次期ごみ処理施設の整備について …資料による説明(米山飯田環境センター事務長)	1	5
2	南信運転免許センターの設置について …資料による説明(牧野広域連合長)	2	7
3	高等教育機関の設置に向けた取り組みについて …資料による説明(高田事務局長)	3	16
4	リニア将来ビジョンの具体化への取り組みについて …資料による説明(吉川事務局次長)	4	23
5	平成24年度議会日程について		24

5. 閉 会

(上澤議長)

皆さんこんにちは。

ただいまから全員協議会を開催いたします。

現在の出席議員は25名であります。よって本日の会議は成立いたしております。

本日の会議に熊谷時雄議員、新井信一郎議員、木下容子議員、下平勝熙議員、村松まり子議員、伊壺敏子議員、中島武津雄議員から都合のため欠席する旨の申し出がありましたので、御報告を申し上げます。

なお、本日、東三河広域協議会から視察の依頼がございまして、職員の方々がお越しになっておりますので、御報告をしておきます。

これより本日の会議を開きます。ほんの一言御挨拶を申し上げたいと思いますが、本日は市長選、またあるいは間近に議員選挙等を控えておまして、大変お忙しい時期にもかかわらず御出席をいただきましてありがとうございます。

本日は南信州広域にとりまして、大きな取り組み課題がたくさんございます。本日はその説明を受けまして議論をする中で、郡市民益やそれぞれの地域の発展につながりますように、しっかりと情報交換、また意思の疎通を図ってまいりたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

それでは続きまして、広域連合長から挨拶を願うことといたします。

牧野広域連合長。

(牧野広域連合長) 皆さんこんにちは。

南信州広域連合議会全員協議会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

議員各位におかれましては公私ともに大変御多忙の中、全員協議会を開催いただき、広域連合の諸課題につきまして御協議いただきますことに対し、深く感謝を申し上げますとともに、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて、私こと、このたびの飯田市長選におきまして、三選を果たささせていただいたところでございます。それに引き続きまして、去る10月15日の広域連合会議におきまして、広域連合長に再任をさせていただいたところでございます。これまでの8年間の南信州広域連合の運営にお寄せいただきました町村長さん並びに広域連合議会の議員の皆様方に、その御理解、御尽力、御協力に対しまして、改めて御礼を申し上げますとともに、これから4年間、また全力で広域連合をしっかりやっていきたいというふうに思っておりますので、どうかまた一層の御理解、御協力のほどをよろしく申し上げる次第でございます。

さて、本日、御協議いただきます項目につきましては、私のほうから二点述べさせていただきます。

まず最初に、南信運転免許センターの設置の取り組みについて申し上げます。

この件につきましては、県への要望活動等を行ってまいったところではありますが、飯田下伊那地域への早期設置に向け、具体的な設置候補地を提案することが必要と考え、検討を行うこととしたところでございます。これに対しまして、松川町さん、喬木村さん、そして私ども飯田市、その3候補地から表明をいただいたところでありました。

広域連合といたしまして、この3候補地をどのような形でこれを扱っていくかという

ことにつきましては、広域連合会議の場におきまして、この候補地絞り込みの手順を示してなかったということもあり、その後の対応に混乱を発生させたというように認識をしているところでございます。

この一連の経過におきまして、御迷惑をおかけしたことに對し、広域連合の代表といたしましておわびを申し上げる次第でございます。まことに申しわけございませんでした。

こうした経過を踏まえまして、候補地につきましては、広域連合会議としての集約を行わせていただいたところでございます。後ほど説明をさせていただきますが、御理解をいただければというように思うところでございます。

今後は免許センターの設置者であります長野県や県警本部等関係機関と協議を行う中で、早期設置に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えているところでございます。

次に、高等教育機関の設置に向けた取り組みについて申し上げます。

この件につきましては、9月中旬に南信地域への工科短大機能の配置と県立短大の四年制化に関する県の考え方が示されたところでございます。本日はその内容につきまして御説明をさせていただきます、高等教育機関の設置に向けた今後の取り組みについての御協議をお願いしたいと考えているところでございます。そのほか、それぞれの項目の詳細につきましては、改めて担当者より説明をさせていただきますので、よろしく御協議いただきたくお願い申し上げます。

以上、私のほうから申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

4. 協議・報告事項

(1) 次期ごみ処理施設の整備について

(上澤議長) 早速、4番の協議・報告事項に入ります。

次期ごみ処理施設の整備についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

米山環境センター事務長。

(米山飯田環境センター事務長) 下久堅稲葉地区断層トレンチ調査の結果につきまして、調査報告書がまとまりましたので、報告書に基づいて御説明します。

資料1をごらんいただきたいと思います。

報告書につきましては、私、今、持っておりますので、このような形の図書として取りまとめられて提出されております。お手元の資料につきましては、この報告書の抜粋でございます。

資料1の表紙をめくっていただきたいと思います。2ページと番号を振ってございますが、ここに載っております目次の項目が報告書の構成内容でございます。本日の資料は報告書の抜粋でございますので、この目次のページとは違っておりますので、御承知おきいただきたいと思います。

それでは、4ページをごらんいただきたいと思います。経緯と評価をお願いしました委員の皆さんについて表記してございます。

まず、上段の経過につきましてでございますが、本年の7月24日に松島先生と現地で断層露頭を確認して以来、ごらの経過をたどって、7月27日に広域連合議会に御

報告、御説明を申し上げます。引き続き調査委託の業者選定、入札手続を進めまして、8月9日に入札、契約を行っております。その後、8月21日から現地で調査トレンチの掘削を始めまして、8月30日までの10日間、トレンチの開削調査を行いまして、8月31日に調査評価委員の皆さんに現地の調査検討会議の開催をお願いし、9月5日までにそれぞれの委員の皆様から意見書をいただきまして、調査の報告書をまとめ、10月15日に連合会議に報告をいたしました。現地のほうは9月28日までにトレンチ等の埋め戻しを完了しております。

なお、その間、9月14日から16日までの3日間に見学会を計6回開催いたしまして、延べ121名の見学者がございました。

続きまして、4ページの下段でございますが、調査、評価をお願いしました5名の委員の方を表記してございます。まず、松島信幸さんでございますけれども、日本地質学会名誉会員で、飯田市美術博物館顧問、信州南部活断層地質図の編集者でございます。それから大塚勉さん、信州大学教授で地質学の理学博士でございます。それから神林清文さん、地質コンサルタント、文科省の実施しました第2回伊那谷断層調査の調査委員をお務めになった方でございます。それから坂本正夫さん、飯田市美術博物館の専門研究員、村松武さん、飯田市美術博物館の学芸員でございます。

最後の14ページのところに現地での調査の状況、それからその後、飯田環境センターで開催しました選定委員会についての状況写真が添付してございますので、ごらんいただきたいと思っております。

続きまして、5ページでございます。

上段の部分で現場の上空からの写真でございますが、赤い字で上からトレンチ、2、1、4、3とあります。これは開削の調査のためのトレンチの開削を行った順番で番号を振ってございます。1枚めくっていただいた7ページにそれぞれのトレンチについての位置関係、あるいはトレンチの規模を書かれてございますので、ごらんいただきたいというふうに思います。

続きまして、8ページ、9ページでございます。

ここでは、この現場でのトレンチ調査の結果、それからこの調査に関係する地層の説明と断層の仕組みが書かれております。12ページ、13ページの部分にトレンチ1の壁面写真とそのスケッチ、トレンチ4の壁面写真がございまして、あわせて見ていただきたいというふうに思います。

8ページ、9ページの部分でございますけれども、まず最初に8ページのほうのCの礫層A伊那層と書いてございますが、これでございますが、これは伊那谷全般で一般的に確認される礫層でございます。およそ80万年前までに堆積したと言われる礫層で、現地のトレンチでは断層右側に位置しております。

それから9ページのDの生田花崗岩、断層破碎帯と書いてございますが、これは断層活動によって下の地中から上がってきて、礫層で先ほどの伊那層を切ったものでございます。現地のトレンチでは断層の左側に位置しております。

それからBの礫層Bというものでございますが、伊那層より新しい地層、これはこれらの断層活動が終わった後に、一旦、地表が浸食され、その上に新しく堆積した礫層であります。この調査では構成要素から伊那層の二次的堆積物であること、それからその礫層Bの固結度、固まりぐあいから、13万年前以前の堆積物であると推定されてお

ります。現地のトレンチではほぼ水平に堆積しているものでございます。対象の断層がこの礫層Bを切っていないことから、断層活動は礫層Bの体積前に活動を終えて、それ以後は活動していないというふうに判断されております。

最後にAの人工埋土というところでございますが、礫層Bの上にさらに自然堆積したもの、あるいは人工的に表土近くの堆積した盛り土を含めます。そういった地層を説明しております。

続きまして、10ページ、11ページでございますが、調査結果に基づいた考察ということで載っております。調査をしていただきました5名の委員の方の意見書についてまとめて記してございます。アンダーラインのところは注視でございますが、このアンダーラインの部分ですが、調査の結果、この断層について確実に認められる断層活動は78.1万年前(約80万年前)から12.6万年前(約13万年前)の間に1回となる、その後の活動は認められないことを強く示唆している、約13万年前から現在に至る間において活発な断層活動はなく、活動度は極めて低いと判断できる、以上から、活動する可能性は極めて低い、あるいは既に活動を終えているということで、5人の方の意見が一致しておるという状況でございます。

以上、下久堅稲葉地区のトレンチ調査の報告書についての説明とさせていただきます。

(上澤議長) 説明が終わりました。御質疑はございませんか。

皆様方も現地を視察されておると思いますが、御質疑ございませんか。

(「なし」との声あり)

(上澤議長) なければ、御異議なしと認めます。

よって、次期ごみ処理施設の整備については、聞きおくことといたします。

(2) 南信運転免許センターの設置について

(上澤議長) 次に、南信運転免許センターの設置についてを議題といたします。

説明を求めます。

牧野連合長。

(牧野広域連合長) それでは、私のほうから資料No.2につきまして説明をさせていただきます。

この南信運転免許センターの候補地選定の経過につきましては、既に御承知のことも多いかと思いますが、改めて聞いていただければと思います。

まず、要望活動の経過につきましては、ことしの2月に開催されました広域連合議会第1回の定例会におきまして、飯伊及び阿南の交通安全協会会長さんから御提出がありました、南信運転免許センターの早期設置を求める請願を採択していただき、受理及び県議会議長あてに意見書のほうを提出していただいたところでございます。

その後、7月に入りまして、県警本部長、そして知事あての要望活動を策定いただいたところでございます。そうした中で、先ほど、私、挨拶の中でも申し上げましたように、今後、免許センターの候補地をこの広域連合の中で集約していければという、そうした考え方の中で、候補地として必要と考えられる条件等について8月10日に確認をさせていただきました。ただ、このときにこういった形でこの候補地を集約していくかということについて、具体的な話をさせていただかなかったということがありまして、その後、松川町さん、喬木村さん、そして私ども飯田市からそれぞれ具体的な場所を、ここはどうだろうかというようなことで発表がなされたところでございます。

そうした中で、9月13日に第6回の広域連合会議、こうした中で手続を示せなかったということに対しまして、私のほうから謝罪をさせていただき、その後、この候補地を改めてそれぞれその表明に至る経過を説明いただいて、その確認をした上で、この第6回の広域連合会議におきましては、郡市民にとって最も利便性の高い場所に設置されるよう、9月中旬に広域連合としての候補地を決定するということを確認させていただいたところでありました。

この確認を受けまして、平成24年9月29日に臨時にこの第7回の広域連合会議を開催させていただき、そのときに総務文教消防部会の4町村長さんがこの候補地に挙げられた3カ所を現地確認していただき、その結果の報告をいただきました。さまざまな御意見があったところではありますが、地域が一丸となって要望するという姿勢が大切である、候補地を一本化していこうということで確認がされ、3番のとりの意見集約がなされたところでございます。

南信運輸免許センターの設置場所につきましては、3カ所の候補地にはそれぞれ長所と短所があるということが確認され、当地域の公共交通が集結し交通の利便性が高く、またリニア時代を見据えて、今後も当圏域の核となるべき飯田駅周辺というものが、そういう中ではありますが、望ましいのではないかとということで意見集約がなされました。

飯田市といたしましては、こうした意見集約を受け、当圏域の中心市としての役割を果たし、南信運輸免許センターの設置に責任を持って取り組むということを確認させていただいたところでございます。これが広域連合会議の意見集約としてなされたこれまでの経過でございます。

4番はその後、広域連合のこの意見集約の過程で候補地の検討を表明いただきました松川町さん、喬木村さんにもその対応が必要であるという御指摘を受けまして、広域連合長がこの両町村を訪問し、こうした経過についての説明を議会の皆様方にさせていただいたところでございます。10月10日の午前に松川町さん、午後喬木村さんを訪ねさせていただきまして、議員全員の御出席の中、ただいまの経過と意見集約の説明をさせていただき、広域連合としての不手際の謝罪をさせていただきながら、こうした意見集約になったことの御理解をいただいたところでございます。

主な御意見としてここに出てきたのは、こちらに挙げさせていただいたところでございます。集約する過程の透明性に問題があったという御指摘をいただきました。それから、飯田の駅前の候補地でありますピアゴについての問題はないかとということでございますが、これにつきましては、飯田市として責任を持って対応していただくということでお話をさせていただいたところでございます。

それから両町村とも真剣に検討した表明であって残念であったという中で、今後はしっかりとその設置に向けて取り組んでもらいたいということでお話をいただき、また、広域連合会議の場におきましてであります、きちんと説明してほしいというようなお話もいただいたところでございます。

こうした御意見をしっかりと踏まえさせていただき、両町村議会ともに本日は聞きおくとともに、これからリーダーシップを発揮して免許センター設置に向けて取り組んでいただきたいという形でおまとめをいただいたところでございます。

本当にこの松川町、喬木村の両議会の皆様方、それから松川町長さん、喬木村の村長さんには大変この対応につきまして御尽力をいただきましたことに対し、改めて御礼を

申し上げさせていただくところでございます。本当にありがとうございます。

5番の今後の取り組みについてでございます。

今後の取り組みと書いてありますが、既にやってきていることもございます。まず、地元選出の県議会議員への報告ということでございますが、この9月13日の広域連合会議の翌日、9月14日にこれまでの検討経過につきまして、県議の皆さん方と面談を持ちまして報告をさせていただいているところであります。その中で、今、3候補地が上がっており、これを何とか意見集約をしていきたいというようなこととお話をさせていただき、議員の皆さん方からは、過去に子ども未来センターが集約がなされずにいったことで、ほかの地域に行ってしまったという例もあるのでというような御指導もいただいたところでございました。また、昨日、夕方にこの意見集約ができたという御報告を改めて県議の皆さん方と面談してさせていただいたところでございました。内容については、特に異論はなく、私としては御理解をいただけたものというように受けとめているところでございます。今後の御支援をよろしくということで、昨日もお願いをしてきたところでございます。

それから、広域連合としてこれまでも県当局並びに県警当局に対しまして、いろいろと御相談をさせてきていたところでございますが、正式にこうした形で意見集約をしてきているということでもありますので、全員協議会におきましてお認めいただきました暁には、正式な形で設置要望箇所について提示をして、検討をお願いしていきたいと考えているところであります。

それから周辺地域、上伊那、あるいは木曾といった南信のほかの地域につきましても、経過説明並びに御支援をいただきたいということをお願いしていきたいというように考えておるところでございます。具体的な条件等につきましては、飯田市と広域連合とで協議をする中で詰めていき、そしてそれをもって、また県警本部との協議を進めていければと考えているところでございます。

以上、これまでの候補地選定の経過並びに意見集約について、私のほうから説明をさせていただきました。そうした経過であって、大変いろんな関係の皆様方に混乱を生じたことに対して、改めておわびを申し上げますとともに、こうした意見集約をでき、またお認めいただく、よろしく願い申し上げる次第でございます。

以上であります。

(上澤議長) 説明が終わりました。御質疑がございましたらお出しいただきたいと思います。

小池義郎君。

(小池議員) まず連合長、このたびはおめでとうございます。また、大役をこの4年間ありますけれども、ひとつリーダーとしてお願いいたします。

まず、この私も新人で、いろいろ今回、きましたけれども、昨日、私たち議長と、それから県議の5名で、1時間半ばかり懇談会があったわけです。そういう中で、私たちも、これ、数人が質問等やりました。私もちょうどその中で驚いたことがありまして、その県議の中で、いやこの集約がこの飯田へ来たっちゃうやつは私たちは新聞で見たと、そういう話があったわけです。その話を聞いたときに、やはり私はこれを思うことは、これは県の事業ですので、県議をとにかく頭にして、我々は県議をとにかくバックアップしながら、県議にも動いてもらうということは私は今後必要じゃないかな、そんなふうに思うわけです。それでいろんなことがありますけれども、特に私はこういうその大

きな誘致、それらこういうものについては、県議をとにかく汗水流して努力してもらうように、広域連合もひとつそういうように皆さんが一步、二歩も下がったり、何かしながら、今までじゃなくて、本当に協力し合ってやるように、広域連合も考えを変えましてやっていただきたいな、そんなふうに思います。それで、これは私はいいい傾向だと思いますけれども、ただ私は松川と喬木については、本当によ手を挙げて立候補してくれたなど、私は飯田ということは私たちがなかったんですが、平谷ももしありましたら、私も一番最初、手を挙げるつもりでございましたけれども、やはり素直に今後は必要なものは早目に意思表示をやってもらいたいな、そんなふうに思いますので、今後ともひとつ、今までの経過を参考にしまして、二度とないようお願いいたします。

以上です。

(上澤議長) 要望のような気がしますが、御発言ありますか。

牧野連合長。

(牧野広域連合長) 今、お話があったとおり、これから県当局に対しまして、私どもの候補地としての意見集約というものをまたお願いしていくことになるかと思えます。

先ほど申し上げましたように、地元の県会議員の先生方に対しましては、この件につきまして正式な話として、この9月14日にお話をさせていただき、また集約した後も、そうした御報告をさせていただく中で、昨日、正式なこうした形でということで、またお願いをさせていただいたという経緯がございます。これにつきましては御理解を当然いただいて、そして県御当局に対しましての協力なこれから要望活動をしていくことがぜひとも必要と、私ども広域連合としても考えるところでございますので、今、小池議員からのお話があったような形で、しっかりとまたやらせていただければと思うところでございます。

(上澤議長) そのほかございませんか。

上原耕平君。

(上原議員) 今、小池議員のようなお考えもあろうかと思うんですけど、私は昨日、県議の方々との議長が御協議したということはお聞きしましたが、そのステージをつくったのもこちら側というお話を聞いております。せんだつても我々議会と県議の皆さん懇談やったんですけど、このセッティングもたしか議長さんがおっしゃったように議長さんがしむけたと。それで当然県議の皆様と我々は情報交換は当然していくべきだと考えるわけでございますけど、私ども14市町村で出せる結論の方向性というのは、こちらから示す中で県議の皆さんと私は懇談会されてもいいのではないかと考えておりますがいかがですか、これは。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) 先ほど経過の中でお話させていただいたように、まず9月13日の広域連合会議におきまして、何とかこれを、3つの候補地が出たけれど、これを意見集約していきたいということで確認をされたというこの内容につきまして、まず9月14日に県議の皆さん方にお話をさせていただいて、その中でまたアドバイスをいただいております。そして今回、意見集約がなされたということを受けて、もちろんそれにつきましての御報告という、正式な御報告でない形でもさせていただきましたが、昨日の夕方ですね、恐らく皆さん方のその話があった後になると思うんですけど、こうしたこととということを正式にお伝えさせていただき、さっき申し上げたとおり、特に異論はなくという中で、

私は御理解をいただいたというように思っているところであります。そういった意味では、私どもとして、当然、やっていくことをしっかりやっていかないといけないということで、これまでも考えてきております。そうした中で、先ほど出てましたように、小池議員もおっしゃいますように、これからまさにこの南信運転免許センターをこの地域に持ってくるために、皆さん方と一緒に頑張っていただきたいと思います、こういうお話もさせていただいたというところでございます。

(上澤議長) よろしいですか。そのほかございませんか。

由子さん。

(米山議員) 過日でございますが、飯田市長、私ども松川町議会議員の全員のところへ御足労をいただきまして、いろいろ今までの経過につきまして御説明をいただきました。その経過につきまして、いろいろなお願いをしなきゃならない問題点はございましたけれども、こうして御足労いただいたことには心から感謝をしておるところでございます。

また、こうして一つの方向へ集約をしていただいたということにつきましては、あとどうこうということではなく、やはりこの地域一丸となって、なるべく実現が早いようにお進めいただきたいということが、私どもの議会でも全員の気持ちでございますので、それもつけ加えさせていただければと思っておるところでございます。

なお、ちょっと一つだけ私どもおいでいただきましたときに御質問させていただくことが、私がちょっと落としたのかなと思っておりますが、ピアゴへ4階へ設置をしていくというようなお話をいただいたように思っておりますが、その節はピアゴと、それからあの施設はほかの業者の方々も入っておると思います。その中でセキュリティー対応というようなものについては、十分あそこでもやっていけるのかどうかというようなことについても、ちょっと私は落としたように思いますので、本日伺って、飯田市としてどんな対応をしていただけるのかというような点を伺いたいと思います。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) セキュリティーについては、ピアゴの4階ということで、当然、個人情報扱うということもありますので、これはしっかり考えなきゃいけない課題であるということは理解しております。

飯田市といたしましても、先ほどしっかりと役割を果たしていただくという中で、この床につきましても、もちろんこれからの交渉でございますけれど、民間から飯田市にまず床を借り上げ、そしてそれを県警さんのほうに貸すというような、そうしたことで、今後、セキュリティーについても、飯田市としてやはりできる限りのことは考えていければと、そういったことも含めて、これから詰めをしていきたいなというように思っているところであります。

(上澤議長) 米山由子さん。

(米山議員) 御説明いただきました。いろいろな関係者の方々の意見もあると思いますけれども、警察関係の意見では、非常にセキュリティーのことをちょっとすぐに口に出されるようでございますので、この点につきましても十分な県への説明ができますように充実をしていただいて、ぜひひとつお願いしたいと思います。

(上澤議長) そのほかございませんか。

下平豊久君。

(下平議員) 昨日の5人の地元の県会議員との情報交換会、いろんな関係で郡の議長会が申し入れ

て実現をいたしました。その中で幾つかの工科短大の問題だとか、運転免許センターの問題だとかいろいろやりました。そういう中で、これからもぜひこうした情報交換を大いに進めていこうということで確認をしております。その中で5人の県会議員の皆さんは、窓口として小島県議が、今、役割を分担しているということでございますので、これからいろいろと具体的にことを進めていく上で、当然、県議の皆さんに大いに頑張ってもらわなければいけないわけですから、そうした中で連合長が直接5人となかなか会うといっても時間的にも大変でございます。そういう点では、それぞれの時期にそうした県議の窓口である小島県議と、広域連合は広域連合の事務局長等が随時いろんな情報交換をやって事を進めていくということが非常に大事ではないかなということを痛切に感じました。そういうことから言って、この今、問題になっていることも含めて、ちょっとうまく歯車が合っていないなということを率直に感じて、そういう点で13町村の議長、それから広域の議長であり、また飯田市議会の議長でもある上澤議長も含めて、せんだって各町村長の皆さんと意見交換をし、その流れとして、昨夜、そんなことも計画したところでございますが、そういう中で幾つか出ましたけれど、もう少しそういう点でお互いに情報交換を密にしながら、しかし全体として方向づけをしていくのは、この飯田下伊那地域の方向づけは、最終的には連合がしっかり定めていかなきゃいけないわけですから、何も県会議員の考えを何でも聞いていいということでもないし、顔色を見て決めるということでもないと思います。最終的には広域の課題は広域がしっかりと決めるということだと思います。ただその過程で、今も強調しましたけれど、十分な情報交換等はしっかりやって進めていっていただきたいというふうに思います。そういう点で先ほどから出ておりますが、連合長は市長にも再選をされまして、これからも連合長として大いに、今までも果たされてきたわけですけれども、全体を引っ張っていくリーダーとしての役割も果たしながら、そんなこともぜひお願いしたいというふうに思います。そんなことで、きのう私が呼びかけて会議をしたもんですから、このことだけお願いをしておきたいと思います。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) ありがとうございます。

今、お話しいただいたとおりだというふうに思います。これからも、まだまだこの広域の課題、幾つも山積をしているという、そうした状況の中で、しっかりとまたそうした情報交換の場を持ちながら進めていくことを心がけさせていただきたいというふうに思います。どうぞよろしく願いいたします。

(上澤議長) そのほかございませんか。

中平君。

(中平議員) 二点ほどお伺いしたいわけでありまして、9月13日の日に連合会議と、それから構成市町村の議長との懇談会と申しますか、情報交換会があったわけでありまして、そのときに示されました総務文教消防部会の報告の中では、候補地を決めるに当たっては、現在、表明されている場所も候補地として勘案しながらという、そんな表現になっておりますが、先ほどの県からの説明の中では、もう3カ所に絞った形でやられたように報告を受けたわけですが、この表現とは大分含みを持ったような報告書だったんですが、3カ所だけで決めたのかということと、それからもう一点はきょうの報告にもありましたけれども、郡市民にとって最も利便性の高いというような形を、この報告

書の中にもありましたし、きょうもそういったお話であります。南信運転免許センターというのは、少なくとも飯田下伊那だけじゃなくて、上伊那、辰野まで行くと塩尻のほうが近いと思いますけれども、上伊那の南部の人たちも対象になるところというふうに私は理解をしておりますが、そういった面を考えていかないと、この飯田下伊那の道義ばっかで行くと、この取り組みについての上伊那や木曾への経過説明と支援の要請というふうに書いてありますけれども、少なくとも上伊那の皆さんの支援や御理解を得るには、飯田下伊那の道義ばっかを強調したような形では難しいんじゃないかというふうに私は思っておりますが、その二点についてお伺いいたします。

(上澤議長) 高田事務局長。

(高田事務局長) 最初の9月13日の広域連合会議のときの報告の資料でございますが、そこでは候補地を決めるに当たっては、現在表明されている場所も候補地として勘案しながら、郡市民にとって最も利便性の高いところとなるよう、9月中旬に広域連合としての方向を決定することとして提案するという形で、総務文教消防部会のほうの検討が広域連合会議に提案されて、この方向で候補地の選定について9月中旬に決定しようというところが、広域連合会議で13日に決まったということでございます。

3つの候補地を勘案しながらというのは、3つの候補地も含めて、一番は郡市民にとって最も利便性の高いところというところを焦点として、3つの候補地はそれどうなのかということも含めて、9月中旬に決定しようということで御理解をいただきたいと思えます。3つの候補地だけがどうのということではなくて、まずは郡市民にとって最も利便性の高いところというところを考えて、3つの候補地を検討しようという、そういうことで検討を13日に決めたということでございます。

それから他の地域についてでございますけれども、南信州広域連合としての候補地でございますので、一番は何と言ってもこの地域の住民にとっての最も利便性の高いところはどこだということの中で、まず検討がされるということが観点にされたということでございます。今後、南信運転免許センターとしての候補地として、県警、あるいは県へ申し上げていく過程の中では、他の地域にも御理解を願い、こういうことで広域連合として提案をしていくということ、それぞれの圏域にも御了解をいただいた上でやっていく必要があるのかなというふうに思っております。

以上でございます。

(上澤議長) 中平さん。

(中平議員) 今のそういうような説明ならそういう形で受け取らざるを得ないわけではあります。どうも広域の文章はごみ処理施設のこともそうでありまして、どうも含みを持たせたような書き方がされておいて、読んだ人というか、受け取る人によって大分理解が違って来るような場面が私は多いというふうに思っておりますので、ぜひそんな点は、今後、すばっとわかるような形をお願いしたいというふうに思っておりますし、また上伊那の皆さんの理解を得るためには、今後、非常に大変なことだと思いますが、先ほど来から出ておりますように、県会議員の皆さんの御協力もいただきながら、ぜひ理解をいただくようお願いしたいというふうに思います。

(上澤議長) よろしいですか。それではほかに。

宮外さん。

(宮外議員) 14番宮外です。3つほど質問します。一つは、今、中平さん言われたものと同じで

す。8月の議会において、設置の条件としてまず第一に飯田市以北という条件がありました。それで松川町あるいは喬木村、動いたと思います。私も高森ですが、高森も当然以北だからいいんじゃないかということで考えましたが、候補地が見つからなかったということではありますが、飯田市以北というと、以っちゅうのは文法でいきゃあ飯田市も入るということになろうかと思いますが、私、一般の考えだと、飯田市以北だと飯田市は入らずにそれより北かなという感じがしたんですが、そういうふうに文法で言えばそうなっちゃうんですけど、この中に上伊那地区に配慮して、利用者に配慮してということで書いてあったわけです。それで松川町と喬木村も動いたと思うんですね。だからあの第一条件がどういうふうに、何であそこに書かれたのか、①で出たのか、そう言うておいて飯田郡市民の中心地ということであれば当然飯田市です。これは私も飯田市が当然だと思ってはおりましたが、そういうふうになったんでそういうようなことになったと思うんで、この条件が何であったのかということ、それから②に二つ目として、ある県議が言うには、ピアゴ、これは飯田市の場所ですけども、県としてもっと都合のいいところがあるということで、非公式に個人的に聞きました。ところがきのう、その場所は県議から出されなかったということなんで、その県議に確かめてはみてないんですけれどもということ。それは県議が言わなかったのでもうどうしようもないんですけども、それはピアゴよりもっといいなと私は思ったんです。

それからもう一つ三番目に、ピアゴがどの程度話が具体化してるのか、挫折は絶対にせずに進んでいけるのかどうか、この三点をお聞きします。

17番です、済みません、番号間違えました。

(上澤議長) 17番の宮外さん。

高田事務局長。

(高田事務局長) 一点目の条件のところでございますが、飯田市以北という表現は確かにございました。それは南信運輸免許センターですので、先ほど中平議員からもお話がありました。当然、他の地域も対象になってまいりますので、飯田市以北という表現になっております。

9月13日の連合会議の中では、そういうことはあるけれども、まずはこの地域の住民の一番利便性の高いところということが大事だということが議論をされて、先ほどの選定についての結論を9月13日になったということがございます。ですので、以北ということが飯田市が入ってる入ってないということは当然入っている、飯田市も含んでのそれより北側、飯田市も含んでの北側ということでの以北ということでございますので、御理解をいただきたいと思っております。

それから、県議会議員さんがどこかほかの場所をとということをおっしゃったとかということにつきましては、私どももいたしましては、そういう情報は直接にはお聞きいたしておりませんので、どこなのかについても私どもは存じ上げません。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) 私のほうから。今、お話がありましたように、このピアゴについてということですが、基本的にはこの南信州広域連合の意見集約ということですので、候補地としてこうしたところはどうだろうかということにつきましては、広域連合としての意思表示として意見集約してきているということで御理解をいただきたいというふうに思います。ピアゴが後戻りすることないのかということでございますが、実際にもう

ユニーに、相手方ユニーになりますが、ユニーのトップの佐々木会長さん、阿南御出身の佐々木会長さんとも、私、直接面談させていただきまして、全面的な御協力をしていただけるというようなことにつきましてお話をいただいているというところでございます。そうした中で、今回のこうしたことについてのこういったところはどうかというお話をさせていただいております、これから事務的なもちろん詰めをしていくという中で、そうしたことをしていく中で課題も出てくると思いますが、そうしたことにつきましては、飯田市としてしっかりと責任を持ってやっていきたいと考えているところでございます。

(上澤議長) 宮外さん。

(宮外議員) じゃあ挫折はないということで、この席で言われたと、こういうことで確認しますが、いいですね。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) 意思表示ということで、先ほど確認をさせていただいたとおり、候補地をあくまでこの意見集約として、広域連合としてはここに意見集約をしたという立場でありまして、もちろん決定をするのは県であります。県がどういうふうに決定するかというのは、まさにこれからの我々の活動にかかってきているというふうに思っておりますので、またそうしたことで、私としても全力を尽くしていきたいと考えているところでございます。

(宮外議員) ピアゴ側から拒否されるということがないかどうかということです。

(牧野広域連合長) それはないです。

(宮外議員) ないですか。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) それはありません。

(上澤議長) そのほかございますか。

原和世議員。

(原議員) この南信運転免許センターというのは、広域連合のアイテムという御理解でいけば、この広域連合議会で決定し、それを進めていくということだろうと思うんですが、先ほど広域連合長のほうで気になることをおっしゃったんで、確認させてもらいたいんですが、このピアゴの4階の層を飯田市が買って、それを県警に貸すというような発言をされてましたけど、それは再度、お答えもらいたいと思います。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) 取得するという事は申しておりません。間に入ってということで、そういうこともあり得るということでお話をさせていただきました。買うということではありません。

(上澤議長) 原和世君。

(原議員) そうすると、間に入るということは、所有者というかその権利者は県警もしくは長野県ということになるということであって、あくまで飯田市とすればその仲介をするという意味合いですか。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) 床を借りるということがあり得るということでありまして。床を借りて、それを県警に貸すということはあるということでありまして。

(上澤議長) 原和世君。

(原議員) 床を借りるのは広域連合で借りるんですか、それとも飯田市で借りるんですか。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) それは飯田市の責任においてということになると思います。

(上澤議長) 3回になりますが、特例で認めます。

(原議員) 特例で済みません。それで飯田市が借りるということになると、飯田市が借受人になるんですね。そうすると飯田市のアイテムになるのかなとも思われるんですが、そうしますと、借りるについてはそれは予算も執行しないといけないということになりますから、これは当然飯田市の中で合意形成を得ないといけないというふうに思うんです。そうすると、現在のところ飯田市議会でこのことについて議論し、そのことについて承認しというような経過はないんですね。ここにもありますけれども、いわゆる広域の中の喬木や松川さんに対する随分一例があったということで、問題があるということをおっしゃってましたけども、いわゆる手続というところですね、そういう意味では、今、飯田市がということになりますと、飯田市に対する手続が欠けてるんじゃないかなとも思われるんです。その点はどのように考えるのでしょうか。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) まださっきの話も決まったわけではありません。要するに相手のある話ですから、当然そういったことも視野に入れてということで申し上げているところでございます。当然、飯田市の中においても、市議会の中で手続をとっていくと、それはこれからの事務的な手続が進む中でとらせていただくというものでございます。

(上澤議長) そのほかございませんか。

(「なし」との声あり)

(上澤議長) なければ、説明がございました南信運輸免許センターの設置については、聞きおくことといたしたいと思います。

(3) 高等教育機関の設置に向けた取り組みについて

(上澤議長) 次に、高等教育機関の設置に向けた取り組みについてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは、資料No.3をごらんいただきたいと思います。

高等教育機関の設置に向けた今後の取り組みについてという資料でございますが、その次にホッチキスでとじたものがついておるかと思えます。一つは県の新県立大学基本構想(素案)というのがついておるかと思えます。それからもう一つホッチキスどめで、南信地域に配置する工科短大機能についての資料をやはりクリップでとめて、資料No.3の次についておると思えます。最初に県のほうから発表されましたその資料について御説明をさせていただきたいと思えます。

最初に、新県立大学基本構想(素案)というのがあるかと思えますが、それを見ていただきたいと思えます。資料よろしいでしょうか。

この資料につきましては、ことしの9月19日に、県で県立大学の設立準備委員会というのが開かれまして、そこに県の素案として示されたものでございます。この表紙を見ていただきまして、趣旨の一番最後のところに長野県短期大学を改組し、新しい時代

の要請に対応していく新たな公立四年制大学を設置するというふうには書かれていまして、具体的に県の短大を四年制化して、新しい大学にするんだということが示されています。

その中身でございますが、ちょっとお開きいただいて、6、7ページを見ていただきたいと思います。ここに6番の学部構成というのがありまして、7ページの上段ですが、総合マネジメント学部、総合マネジメント学科、グローバルこども教育学科の1学部2学科の体制の学部構成の大学というようなことございまして、定員が240人というような数字が示されています。240人という定員は、これは今の県立の短期大学と同じ数でございます。

それから、この最後のところに7番で場所というのが8ページにあります。8ページのところに場所として、現在の長野県短期大学所在地を基本に検討するということございまして、この資料を見ますと、1学部2学科、定員240人で、長野市の今の短期大学の所在地を基本として新しい大学にリニューアルしていくというようなことが書かれています。

それから、当地域に関係するものとして5ページを少しごらんいただきたいと思えます。

運営の特色というページでございまして、その一番下、(3)ですが、サテライト・ラボ（仮称）の設置ということで、地域との連携により県全体を学習フィールドとするとともに、各地域に対して知の還元を行うため、地域課題の解決、地域文化の学習の拠点として、一定期間使用可能なサテライト・ラボ（仮称）を地域との連携・協力を得て設置するというのの表現がありまして、県内へのこういうサテライトのラボを設置をしていくというようなことが一つの案として書かれています。これがどういうものなのか、まだこの表記だけですのわかりませんが、各地域と連携・協力ということがございますので、この点につきましては、後ほど申し上げますが、パブリック・コメントで意見を申し上げていきたいということでございます。これが19日に示された新県立大学基本構想の素案でございます。

それからもう一つホッチキスでとじたものが、南信地域に配置する工科短大機能に係るものでございます。

これは、この同じく先月、9月18日でございますが、工科短大機能あり方検討会というものの第3回目が開かれました。その場に県が提出して工科短大の考え方について示されたものの抜粋でございます。

最初のページを見ていただきますと、南信地域に配置する工科短大については、1科当たり定員数は20人、それから一番下ですが、訓練科数が2科ということでありますので、2科で20人で40人という定員ということであります。ちなみに上田にあります工科短大は80人定員でございます。こういう形で訓練科数、定員数が示されたということでございます。

それからおめくりいただきまして、次のページの一番下をごらんいただきたいと思えます。ここには、今、県内南信にあります技術専門校のことが書かれています。その一番下の表を見ていただきますが、岡谷にもものづくり技術科があつて定員が10人、伊那にメカトロニクス科と情報システム科があつて30人、それから飯田技術専門校に自動車整備科と木造建築科があつて40人、合計80人の定員で、今、技術専門校が、この3校が運営をされておりますが、その上の点線の四角を見ていただくと、技専校から

南信機能への志望替えが予想されるため、技専校の統廃合が必要、80名を40名程度というようなことが書かれていますので、40人定員の工科短大を南信地区へ配置するけれども、今ある技専校の定員80名は40人に統廃合するということが書かれていますので、この地にある飯田技術専門校がどうなっていくのかということも非常に大きな課題かなというふうに思われます。80人を40人ということでございますので、この部分が気になるところでございます。

それから、この資料を見ていただいて、4ページ以降に工科短大の機能設置についてのいろいろな要望活動等が書かれております。7ページの上段に南信州広域連合として、高等教育機関の設置についての要望活動をしたことが書かれております。

最後に8ページ、9ページをごらんいただきたいと思います。

これは、南信地域に配置する工科短大の設置の場所についての資料でございます。横長の8ページであります。AからEまで五つの案が示されています。A案は新設をする場合、それからBCDが、今あります三つの技専校を改修して使う場合であります。面積からしてD案が伊那の技専校です。23,000平米という敷地面積から見てD案が伊那の技専校です。それからC案は体育館の活用と書いてありますので、これが飯田の技専校です。C案が飯田の技専校、B案が岡谷の技専校だと思われま。一番右端のE案が県立高等学校跡地の建物一部改修ということで、飯田工業高校を想定して、飯田工業高校を使った場合ということで、五つの案が比較検討されることになっています。

その下に施設整備費だとか、どういう内容でやるかというようなことが書かれております。見ていただきますと、D案、伊那の技専校を使う案が、事業費で15億3,900万で一番低いという状況です。

それからE案、飯田工業高校を活用するものにつきましては、事業の中身を見ていくと、解体というようなことも含まれていますので、プールですとか建物の一部ですとかということは、どうも解体をすることを想定した案という状況でございます。

9ページがその五つの案を検討項目で比較したものでございます。

検討項目の一番上、通学の利便性というところですが、A案、新設をする場合と、それからD案、伊那の技専校が二重丸になっていて、それ以外は三角ということになっています。

それから二つほど飛んで施設整備費のところは、A案、新設が三角、それからD案の伊那技専校を活用する場合が二重丸というような表記になっています。

このような形で、これが県の案としてあり方検討会に示されて検討されていくということでございます。

今後、県の議会の中で、この検討会からどのような答申がされて、どのような検討がされていくのかということが、これから注目される所でございますが、一つ技術専門校の定員の削減というところの中で、飯田の技専校がどうなるのかというところが気になるところでございます。

それでは資料No.3の頭へお戻りいただきたいというふうに思います。

今、説明を申し上げましたのが、1番の現時点の状況整理ということで、(1)の工科短大機能あり方検討会の検討状況、それから(2)番の新県立大学基本構想(素案)、この二つの説明を、今、させていただきます。

大きな2番として、飯田工業高校の後利用についてでございます。(1)番は、23

年度に確認をされたことでありまして、一つ目は短期的な利用として、飯田工業高校の閉校後、2年間、飯田女子高校が仮校舎として利用するという事は、これは決まっております。25、26年度に女子高校が仮校舎として使うと。その後の永続的な活用方法が②番でありまして、その後については広域連合、飯田市、地元地域の意見も聞きながら、今後、検討していくということで、23年度の後利用懇話会で確認されておるところであります。

それから(2)番であります。地元工業会との懇談が6月末に行われておりますけれども、これは工科短大等の話題がある中で、工業会としての御意見を伺いというわけでお受けしたわけですけれども、地元工業会とすれば、飯田工業高校の後利用として、ぜひものづくりの人材育成の拠点として使ってくれというようなお話がございました。

また、後利用についてさまざまな情報があるということが下に書いてありますけれども、これはきのう県議の先生もおっしゃっていましたが、例えば喬木にあります養護学校が非常に高等部が手狭であってというようなことで、工業高校の後利用としてどうかというようなことが聞こえてきます。

また、工業高校が県の施設でございますので、県としてどのような使い方がされるのかというようなことが気になるところでございますけれども、広域連合、飯田市、地元地域の意見も聞きながらということがございますので、今、これからとして、できるだけ早く地元地域として工業高校の校地校舎をどう使っていくのかということの検討が必要かなと、早く始める必要があるのかなというふうに思っているところであります。

それでは続きまして裏面をごらんいただきたいと思っております。

今後の取り組みについて、広域連合会議で整理をいたしましたので、その内容について説明させていただきます。

初めに、新県立大学構想(素案)に対するパブリック・コメントについてということで、本日、資料No.3の追加ということでお配りしたものををごらんいただきたいと思っております。これは先日、広域連合会議で整理をいただいて、締め切りが先週末の19日ございましたので、既に提出いたしておりますけれども、御理解いただきたいというふうに思っております。

先ほど少し申し上げましたが、サテライト・ラボの設置について意見を提出したものでございます。読まさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

飯田下伊那地域は、飯田女子短期大学以外に高等教育機関がなく、高等教育機関の設置が地域の長年の悲願となっております。こうしたことから新県立大学基本構想におけるサテライト・ラボの設置について大きな関心を持っております。

飯田下伊那地域には15年後にはリニア中央新幹線の間駅の設置が予定されております。加えて、将来の三遠南信自動車道の開通によって、高速交通網の利便性が格段に向上することが期待できます。こうしたことから、南信州広域連合では、リニア新幹線開通を見据えた地域づくりの検討を行っており、その重要な項目の一つとして、地域の将来を担う人材を育成する高等教育機関の設置について研究を行っているところであります。

私どもは、今回の素案にあるサテライト・ラボにつきまして、人材育成の拠点の重要な機能として位置づけることが可能なのではないかと期待しております。南北に長い長野県において、新県立大学が北信の長野市に設置された場合、最も南に位置する飯田下伊那地域にサテライト施設が配置されることは、大きな意味があるものと考えます。ぜ

ひとも飯伊地域の設置について、御検討いただきますようお願いいたします。

こういう形で整理をさせていただいて、このパブリック・コメントを19日の金曜日に提出させていただいておりますので、御報告を申し上げます。

それでは、最初の資料に戻っていただきたいと思います。今後の取り組みをどのように進めていくかということですが、課題の整理といたしまして、短期的な課題といたしましては、先ほど申しましたように、飯田女子高校が利用が終了した後の飯田工業高校の校地校舎の活用方法はできるだけ早く検討に入りたいというふうに思います。それから長期的な課題といたしましては、リニアの時代を見据えてどのような高等教育機関の設置を目指していくのかというようなことも検討を長期的に進めていきたいということでありまして、どのように進めていくかということで、10月の連合会議で議論がされました。その下にありますように、①、②というふうに整理をいたしました。

まず一つ目として、地域の企業、医療機関、福祉関係の事業所、あるいはPTA、短大高等教育機関などの意向調査をまずやろうということになりました。雇用者側の今の人材確保の現状と課題ですとか、将来における要望等の意向調査、それから、教育関係者におかれては、将来的な高等教育機関の設置に対する考え方、あるいは短大等、今、どんな御苦労があるのか、その辺の調査をさせていただいて、今のこの地域における高等教育機関に関する要望、あるいは考え方を整理してみたいということでございます。

この調査をした上で、②番として検討の出発点として、当地域における今後の人材育成の取り組みを考えるようなシンポジウムを計画したいということございまして、シンポジウムの内容といたしましては、広域連合がこれまで取り組んできた要望活動等の整理をして報告をすること、それから①番の調査結果を踏まえて、どんな課題があるのか、そんなことを整理をしながら、各界から意見を伺って、今後の検討のきっかけをつくっていききたいということでございます。

シンポジウム開催につきましては、まだまだいろいろな準備が必要でございますので、準備を進めながら、連合会議のときには資料では1月ころというふうに書いてありましたけれども、この意向調査をきちんと実施して、集約をしながらということになりますと、ちょっと1月は厳しいかなというふうに思いますので、でも遅くとも24年度末までには何とか開催する方向で準備を進めていきたいということで整理をさせていただきました。また御検討をお願いし、こんな方向で取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でございます。

(上澤議長) 説明が終わりました。

御質疑はございませんか。

中平孝文君。

(中平議員) 18番中平でございます。サテライトについてちょっとお伺いしたいんですが、この中で一定期間使用可能なのというふうな表現になっておりますが、これはどういう意味なのか、ちょっとお伺いしたいと思ひますが、とりあえず建物あたりの、既存の建物を借りる場合に、その耐用年数といいますか、そういったことを言っておるのかどうなのか、ちょっとお伺いしたいと思ひます。

(上澤議長) 高田事務局長。

(高田事務局長) サテライト・ラボにつきましてですが、はっきり申し上げて、そういった情報はま

だ何もございません。この構想が発表された段階でございまして、どういう内容のものなのかも含めて、これから情報収集しながら御意見を申し上げていきたいという、そういうまだそんな状況でございまして、今、お答えできるものは私どもまだ持ち合わせておりません。申しわけございません。

(上澤議長) よろしいですか。

熊谷英俊君。

(熊谷(英)議員) 昨日の県議の先生方との懇談会の中でも、この四年制の新設の大学については、なかなかまだ漠としていて、実現の可能性というものがどれほどあるのかということに対して、県議の先生からもちょっと疑問がつくような話し方をされておったのですけれども、そのあたりについてはどのように考えておられますか。実現性という意味。

(上澤議長) 高田事務局長。

(高田事務局長) まず、サテライト・ラボがどんなものかはわかりませんが、今、この地域、あるいは飯田市等が進められております学輪 I I D A ですか、いろいろな取り組みと、それからマッチするようなものであるとすれば、サテライト・ラボも一つの重要な位置づけができるのかなということでもありますけれども、まだまだこれから県とやりとりしなければ内容的にわかりませんので、それについてはこれからかなというふうに思います。

それから、今まで高等教育機関を要望してきたという経過の中で、じゃあどんな施設、どんなものということになりますと、そんな具体性を持って今まで進められてきたわけではないというふうに思います。ですので、この資料で見ていただくと、裏面にちょっと書いてありますけれども、高等教育機関の設置ということを県にも要望してきた経過がございますけれども、それをどのような高等教育機関を目指していくのかということの地域としての合意形成がまだできていないわけではありません。どのような内容で、どのようなものを目指していくのかということも含めて、地域としての合意をこれから積み上げていくということが本当に大事だろうというふうに思います。そのために一つは意向調査をまずやって、どのような要望があるのかということと、それからさまざまな方々の御意見を伺って検討を進めていきたいというのが、今の考えているそんな取り組みの内容でございます。

(上澤議長) よろしいですか。ほかに。

上原耕平君。

(上原議員) この件につきまして、工科短大の件について、これもせんだって我々と県議と懇談をやったんですけど、私はあのとき直接県議には言いたくなかったんですけど、非常に腹が立ったことがございます。飯田下伊那の皆様方の動きが鈍かったもので、上伊那が先行しとると言いまして、私はあのときに、だから我々南信州飯田下伊那の指針を県議の方々との意思の疎通ができてなかったからなんだと。それでああいう状況になっておる中で、私から見れば、県議の皆さんのあの発言を聞いておれば、上伊那が進めてるのを横取りするのかと、今でもそう思っております。私がやるべきことは、当然、いろいろそういった情報入ってこないんですけど、個人的に考えておるのは、これ、今、飯田にある技専がどうなるか、まず、これが必要かどうかということも検討しながら、上田の分校になってしまうんじゃないかとかいう、そういった情報しか入っていないわけなんです。今、局長が言ったように、まさしくこの地域にどういった高等機関が必要かという

のを議論してからであって、建物だけ持ってきたって意味がないと思うんですけど、とにかくいま、局長もそのように進めていきたいと言ったので、私は要望としては、この地域にとってどういうものが必要かというをまず議論をやって、それが必要だったら、そこから先に進めばいいと思っておりますけど、どうでしょうかね、ここは。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) まさにそういったこの考え方が、この広域連合の市町村長の会議の中でも議論がなされ、やはりこうしたこの、ここに書いてありますけど、意向調査の実施並びにこの取り組みを考えるシンポジウム、これをまずスタート点にしていこうということで、いわゆるやはり漠然とした形で議論をしているんじゃないかと、真にこの地域に必要な高等教育機関とはどんなものかということをしっかりみんなで考えていこうと、そこからまず始めていこうということで、こうした御提案をさせていただいているというものでございます。

(上澤議長) よろしいですか。ほかはよろしいですか。

2回目だった。ほかのところではいいところもあるそうですが、特例で。

熊谷英俊君。

(熊谷(英)議員) 済みません、特例ということで申しわけありません。

昨日の理事者の皆さんも県議さんたちとお話をされたんですが、先ほど、今言ったことにつきまして、合意形成ができたのかどうかということを感じてます。県議さんたちは基本的に工科短大をみずからの案として持っていて、それに対してどんな大学が出てくるんだというような感じで話をされておったんですね、きのう、我々の議長との話のときに。ですから、多少考え方のずれがあったと思うんですけども、きのうの懇談会の中で、そこら辺がうまくすり合わせができたのかどうかということをお伺いしたいと思います。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) きのはこの南信運輸免許センターのこのテーマに限ってやっておりますので、こちらにつきましては、きょう、ここでお諮りさせていただき、そしてこれからまた県議の皆さん方もこうした方向でやっていきたいというようなことで、また報告はさせていただきますと、そういうふうになると思います。

(井坪議員) 先ほどの免許センターのことも含めて盛んに出てくる言葉が県議ですね。どうも不安でしようがないんです。というのは、一つは県議会議員の言ってる情報が本当に正しいのかどうかという、その辺がちょっとよくわからない。例えば、新聞報道で初めて知ったと、そういうふうに言ってるんですが、それはお認めになるんですか。それから過去にもファクスでしか来てない、そんなような話もありました。それから、いろんな意味できょうのお話の中で議員さんの発言の中に、どうもよくわからん、県議会の情報が、そういうお話がありました。私はこれは質問じゃなくて要望なのかな、連合長の意思を聞きたいと思ってお聞きいたしますが、つまり先ほど下平豊丘議長さんも大変大事なことをおっしゃった。主体は我々なんだと、我々が決めたことにきちんと県に主張して言うべきだと、そういう意味では、私は連合長に県議会議員とのまずはコミュニケーションをしっかり図っていただきたい。それと事務方ではとてもできない毅然とした態度、県議、議員に対して、そういうものを含めて、我々が主体となって広域の事業を進められるようにやってほしいと思います。意思を確認しておきたいと思います。

(上澤議長) 牧野連合長。

(牧野広域連合長) 今、御指摘がありましたように、私も下平議員からのお話があったそうした立場というのが、まさにこの南信州広域連合の立場であると。つまりこの地域の最終的な意思確認というものは、やはりこの広域連合、そしてこの広域連合議会においてしっかりと確認された、そのことは非常に重いものがあるということで、これまでもそうした形でやってまいりましたし、これからもそうしたことで考えていく必要があると。そしてそうした中で、やはり県議の皆さん方とのかかわりというのも、今、お話がありましたように、しっかりとコミュニケーションをとりながら、しかしながら広域連合の意思としてはこうした形でまずまとってきたということをちゃんとお伝えしていく、そうしたことは昨日も言わせていただいたところでございます。これからもそうした形で、この地域全体のやはり考え方というものをしっかりと明確にさせていくように、広域連合長として頑張っていきたいと、そういうふうに思っております。

(上澤議長) よろしいですか。そのほかございませんか。

なければ、説明のございました高等教育機関の設置に向けた取り組みについては、聞きおくことといたします。

(4) リニア将来ビジョンの具体化への取り組みについて

(上澤議長) 次に、リニア将来ビジョンの具体化に向けた取り組みについてを議題といたします。

吉川事務局次長。

(吉川事務局次長) リニア将来ビジョンの具体化について説明をさせていただきます。

資料No.4をごらんいただきたいというふうに思います。

この件につきましては、市町村長及び議員の皆様による研修視察について説明をさせていただきますと思います。

去る、8月23日の全員協議会の折にも御説明させていただいておりますし、また建設産業経済検討委員会でも御議論をいただいております。資料でございますが、要点だけ説明をさせていただきますが、Aコースについてでございますが、10月29日と30日の2日間でございます。資料では15名参加となっておりますが、随行する事務局職員を含めまして、現在、13名参加の予定となっております。

視察先は東北新幹線のくりこま高原駅から新花巻駅までの間の5カ所の駅の視察と、北上市役所において、駅前の再開発事業についてのヒアリングを行う予定でございます。

Bコースについてでございますけれども、11月6日から7日の日程で、13名で実施の予定となっております。

九州新幹線の新玉名駅から博多駅の4カ所の駅と、佐賀県嬉野市において残土活用の現地の視察をいたします。また、玉名市役所、鳥栖市役所及び鉄道運輸支援機構の武雄鉄道建設所においてヒアリングを行う予定でございます。

Cコースについてでございますけれども、11月19日から20日の日程で、21名の方の御参加をいただく予定でございます。

東北新幹線の新青森駅から新花巻駅までの6カ所の駅の視察と、七戸町と二戸市でヒアリングを行う予定でございます。

本日お配りした資料に参加者名簿をおつけしてございますので、御確認をお願いいたします。なお、名簿の乗車場所でございますけれども、これは事務局で一方的に記入し

たものでございますので、異なる場所で乗車をされる場合は、お手数でございますけれども、事務局に御連絡をお願いしたいというふうに存じます。

なお、視察結果につきましては、11月29日に定例議会の開催を予定しておりますが、その折に御報告をいただきまして、情報の共有を図りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

- (上澤議長) 説明が終わりました。御質疑ございましたらお願いいたします。よろしいですか。
なければ、説明がございましたリニア将来ビジョンの具体化に向けた取り組みについては、聞きおくことといたします。

(5) 平成24年度議会日程について

- (上澤議長) 次に、平成24年度の議会日程についてを議題といたします。
説明を求めます。

北原書記長。

- (北原次長補佐兼庶務係長) 平成24年度の議会日程についてお願いいたします。

平成24年南信州広域連合議会第2回定例会を来月11月29日木曜日に、平成25年南信州広域連合議会第1回定例会を平成25年2月21日木曜日に予定しておりますので、今から予定をよろしくお願いいたします。

- (上澤議長) 説明のありました議会日程につきましては、何か意見ありますか。
(「なし」との声あり)

- (上澤議長) なければ、御確認をお願いいたします。
以上であります。理事者側、何かありましたら。
山田消防長。

- (山田消防長) 消防長の山田でございます。
消防本部の公式ホームページに個人情報の一部を誤って掲載した事案について御説明申し上げます。

この事案については、消防写生大会の入選作品の入選者について、保護者等の電話番号を誤って掲載したものでありまして、事実を確認した17日7時半には当該関係者の皆様に謝罪をいたしまして、御説明を行い、御理解をいただいております。

なお、本日現在、特に関係者の皆様からこのことにおいて不利益に至った等のお話は今のところいただいてございません。

原因といたしまして、掲載予定のシートの名簿に別添の電話番号がつけましたシート名簿が含まれていたことを気づかずに、16日の3時から17日の午後6時30分までの間、ホームページに掲載したものでございまして、消防本部といたしまして、再発防止に向け職員に対して個人情報の慎重な取り扱いの徹底と、署及び課の担当者に対しての確認の研修会を行い、また担当課における複数のチェック体制を強化したところでございます。

個人情報の取り扱いについては慎重に対応すべきことであり、今後、このようなことがないよう職員を指導し、情報管理を徹底し注意してまいります。まことに申しわけございませんでした。

以上でございます。

(上澤議長) この件について何かございますか。

(「なし」との声あり)

(上澤議長) よろしいですか。そのほかはございませんか。

上原耕平君。

(上原議員) ちょっとその他がなかったのが心配しておったんですけど、私もきょうこの席で確認させていただきたいのは、質疑について御質問させていただきます。

きょう先ほど熊谷議員が2回目の挙手をしたときに、もうだめだとすぐ諦めましたよね。私も以前、手を挙げたときにルールを守れと言われました。私ども、ちょっとある議会でも協議したんですけど、私どもがやっているのは、同一議案の3回までというのは理解しております。飯田市の議員の皆さんと話をすると、連続3回というのをとりますね。我々は同一議案の場合でも、今、恐らく大鹿の議長さんが、間で何か入ってやっていると。我々トータル3回はオーケーと見ておるんですよ。議員必携でも自分ではそういうふうに判断しておるんですけど、ちょっとこの中でどういうルールでやっておるのかというのと、広域にもしルールがあったり一つ決めてあるんだかどうか、はっきりしていただかないと思うんですけど、いかがでしょうか。

(上澤議長) わかりました。それぞれ議会の運営に際したことでありまして、それであっても、どちらにもとれる部分があります。ただ、裁量として、議長の判断によるということもありましたので、きょうはそういう形でとらせてもらいました。前からも言われておりましたので、また議会運営委員会等で、まだ広域としてのルールはないものですから、広域連合議会としてのルールというものはまた検討させてもらいたいと思います。ですから議会運営委員会のほうでまたお諮りをして、また御検討いただきたいと、そういうふうに思っていますのでよろしくお願ひします。

それではよろしいですか。

6. 閉 会

(上澤議長) なければ、ちょうど5時でございますが、以上で本日の協議会を終わります。ありがとうございました。

閉 会 午後5時00分